

1. 伐採木の有効利用と廃棄物削減

廃棄物削減とCO2固定を考慮すると、伐採木や剪定枝を有効利用することが望ましい。剪定枝の有効利用としては、工作物や木のオモチャ、土留め、見切り材、非常時の薪の材料、土壌改良材として炭などの他、ウッドチップにして舗装材やマルチング材として利用するなどがあげられる。

＜伐採木の有効利用例＞

分類	利用例
幹	ベンチやテーブルなどの家具、加工して集成材などの木材などに利用。
太い枝	柵や土留め材、縁材、薪などに利用。
小枝	薪やウッドチップにして園路の舗装材などに利用。
葉	落葉マルチ材、腐葉土、土壌改良材などに利用。

2. 剪定枝の有効利用と留意点

- ① 枯木、枯枝を生きている樹木の根元に敷設すると、腐朽病害が出る可能性があるため根元に置かない。
- ② ウッドチップのマルチングを厚く施すと、腐朽病害が出るので注意する。落葉マルチが適す。
- ③ ウッドチップの未分解の堆肥を施すと窒素飢餓や病気がでるので施さない。マルチとして利用する。
- ④ イチョウやサクラの枝、針葉樹の枝などは作物の根に有害なフェノール類を多く含むので、完全に堆肥化してから農作物などに利用する。
- ⑤ 非常時にも役に立つロケットストーブや薪ボイラーなどの原料にすることが望まれる。
- ⑥ 野焼き規制適用外のコンパクトな無煙炭焼き器(無煙炭化器)などでの炭化し炭のも望まれる。

	
<p>・ベンチにして利用（北海道）</p>	<p>・土留め材として利用</p>
	
<p>・木の化粧壁（北海道）</p>	<p>・薪として利用、ドロバチの棲み家に</p>



・手作りのガーデンの縁材に利用



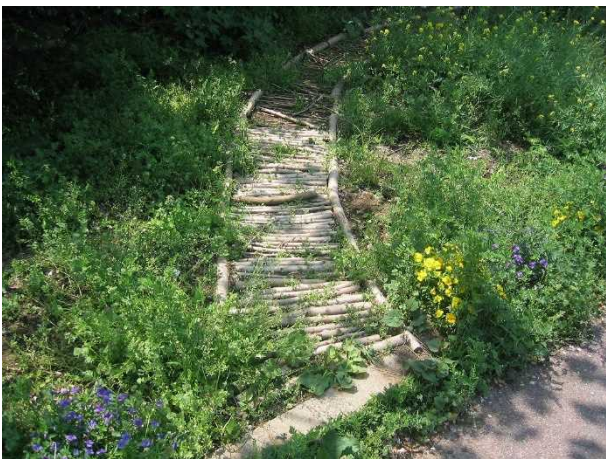
・フェンスに利用



・レンガ敷の縁材に利用



・細い枝を編んで縁材に利用



・手作りの園路の床材と縁材に利用



・公園のウッドチップ舗装

3. 関連参考図書

- 「現代農業 2017・12 落ち葉&せん定枝 ラクに集めて、どっさりまく」・農文協
- 「木質資源とことん活用読本 薪、チップ、ペレットで燃料、冷暖房、発電」・熊沢実/沢辺攻編著・農文協
- 「炭をやく 炭を使う」・現代農業特選シリーズ3」・農文協
- 「最高！薪&ロケットストーブ」・現代農業特選シリーズ7」・農文協